

プレゼンテーション アマンダ・ガルディナ

イギリスに本社を置く多国籍企業のピアソン社が、いかに国連の持続可能な開発目標を同社のビジネス戦略に取り入れ、持続可能性の責任を果たしているかについて発表する。

ピアソン社は世界の教育機関、政府、個人の学習者に教材やサービスを提供している。その使命は学習を通じて人生を前進できるように人々を支援することである。この使命を達成し、長期的な競争力を確保するためには、持続可能性が非常に重要である。

国連の持続可能な開発目標（SDGs）は、世界で最も大きな経済的・社会的・環境的な課題のいくつかを解決する手助けをする新たな機会をピアソン社にもたらした。2015年にSDGsが開始されたとき、気候変動や国内外の幅広いステークホルダーの考えが、社の戦略や活動に確実に反映されるように、同社は持続可能性に関する取り組みを見直した。

プレゼンテーションの要点は次の通りである。

- ピアソン社の2020年持続可能性計画の概略。学習者、株主、より広い社会のために価値を生み出す5カ年計画
- SDGsをいかに考慮して2020年持続可能性計画を策定したか
- 計画の実施をサポートするパートナーシップ
- ピアソン社のビジネス戦略の中心に持続可能性を採り入れる
- 計画を実施する上での課題と機会